

愛南町が生産量日本一を誇る河内晩柑<sup>かわちばんかん</sup>の生産から加工・販売に一貫して携わり、県内外のみならず世界中の方々に食べてもらいたいとPRを行う南宇和高校は、愛南町を活性化させることを目的として日々活動を展開しています。

平成30年には河内晩柑と甘夏において『グローバルGAP』の認証を取得し、令和3年には東京オリンピック選手村への提供食材として、海外の選手たちに河内晩柑の魅力をお届けすることができました。また、地元水産加工業者とのコラボレーションで完成させた『愛南ゴールド真鯛』など、地域密着型の積極的な取り組みを続けています。

これらの取り組みが高く評価され、地域振興研究部ならびに農業クラブは以下の表彰および選定を受けました。

**祝** 南宇和高校地域振興研究部  
『令和4年度未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー』内閣府特命担当大臣表彰

平成27年の創部以来、積極的な活動を続けている地域振興研究部が『令和4年度未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー』において内閣府特命担当大臣表彰を受賞し、受賞報告のため町長室を訪れました。

平成30年に開催された『全国高校生商い甲子園』で見事優勝を果たした同部は、河内晩柑を活用した取り組みをはじめローカルSDGsなど、幅広い視野による活動とこれまでの実績が評価され今回の受賞に至りました。

昨年11月30日(水)に内閣府講堂で行われた授賞式に出席した部長の山口恵未さんは、「このような大きな賞をいただけてうれしい気持ちでいっぱいです。先輩方から受け継いだ活動を後輩にも受け継いでもらい、これからも『地域振興研究部』としての活動を継続してもらいたい」と受賞の感想を述べ、後輩たちのさらなる活躍に期待を寄せていました。



愛媛  
CATV  
動画

**祝** 南宇和高校農業クラブ  
「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝(コミュニティ・地産地消部門)』選定



全学年の農業科生徒合わせて49人で構成される農業クラブが、「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』(コミュニティ・地産地消部門)」に選定され、1月10日(火)に南宇和高校で選定授与式が開催されました。

中国四国農政局は地域の活性化や所得向上に取り組む優良事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として、同局管内の各県から1事例ずつ選定を行っており、12の応募があった愛媛県内からは南宇和高校農業クラブが選ばれました。

中国四国農政局愛媛支局地方参事官室の上原伸二<sup>しんじ</sup>総括農政業務監理官から選定証を受け取った農業クラブ会長の菅原天翔<sup>てんか</sup>さんは、「日々の実習を当たり前に取り組んでいる中で、活動が認められたことがうれしく思う」と述べ、山口恵未さんは、「今回選定していただいたことを多くの方に知ってもらい、たくさんの方が農業科に興味を持ってほしい」と笑顔で話しました。



愛媛  
CATV  
動画